

第5学年総合的な学習の時間指導案

令和4年9月9日（金）第5校時

荒川区立第三峡田小学校

第5学年1組 22名

授業者 宮崎 直之

研究主題

未来につながる子どもの育成 ～SDGsの視点と関連させた授業づくり～

1 単元名 「プラスチックごみ問題を考えよう」



2 単元の目標

プラスチックごみの問題やその背景、地域や家庭での取組などを調べる活動を通して、プラスチックごみの問題は自分たちの生活と深い関わりがあることを理解し、環境問題を自分事として捉えて課題解決に取り組むとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①プラスチックごみの問題は、自分たちの生活と深い関わりがあることに気付いている。 ②問題に対して、地域や家庭で様々な取組が行われており、そのために活動したり努力したりしている人々がいることを理解している。 ③問題に対して、自分でもできることがあることが分かる。	①プラスチックごみの問題を調べる課題を立てたり、その解決の方法や自分たちにできることを見通したりしている。 ②目的に応じて必要な情報を集めたり選んだりして収集している。 ③考えるための技法を活用しながら、情報を整理・分析し、課題の解決について考えている。 ④自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	①プラスチックごみの問題に関心を持ち、自分自身の生活を見つめ直し、積極的に探究的な学習に取り組もうとしている。 ②プラスチックごみに詳しい人の話を聞いたり、友達と話し合ったりしながら新たな考えを受け入れ、課題解決に生かそうとしている。 ③プラスチックごみの問題に対して、自分にもできることを考え実行しようとしている。

4 児童の実態と教材について

給食の牛乳を飲むときに多くの児童はストローを使っていない。学校アンケートで「水や物を大切にしている」と答えた児童は77%いたが、「世界で起きている問題を知っている」と答えた児童は52%だった。ストローを使わない理由を児童が十分理解しているとは言い切れない。1学期はプラスチックごみ問題の背景だけでなく、プラスチックの原料や歴史、そのよさなどを調べた。2学期はこの問題を自分事として捉えるため、4年生で学んだごみ処理や3R、1学期に得た知識を活用し、ク

ラスでできることを考えていく段階に入る。その足掛かりとして家庭に協力してもらい実際にプラスチックを集めたり分けたりする。プラスチックの利便性とプラスチックごみを減らす必要性、それぞれの立場を踏まえつつ、それでもなお自分たちにもできることはないかを考え、具体的に行動する学習を展開する。以上の学習活動をSDGs目標14「海の豊かさを守ろう」目標12「つくる責任つかう責任」と関連させて、本主題である「未来につながる子」の育成していく。

5 重視したいESDの視点との関連

ESDの視点	育てたい具体的な姿	関連評価
①批判的に考える力	・プラスチックごみの問題だけではなく、その便利さについても気付いた上で自分やクラスでできそうなことを考えようとしている。	知① 思①
⑥つながりを尊重する態度	・自分が出すプラスチックごみが、ゆくゆくは海洋生物や人体にも影響があるかもしれないことを知り、自然・人を尊重し大切にしようとする。	主②
⑦すすんで参加する態度	・自分にできること、クラスで取り組みたいことを自分なりに考え、行動しようとする。	主③

以上のような視点を通して、相互性・有限性・責任性を養っていく。

6 本単元の研究主題にせまる手だて

(1) 批判的に考える

- ・本時では考えを広げた後（ウェビングマップ）、視点を設けて意見を絞る（ピラミッドチャート）といった、拡散→収束の流れを組み合わせることで、問いを深めるとともに、論点を焦点化させる。

(2) つながりを尊重する

- ・出し合った意見を共有する時間を設けることでプラスチックを減らす取組がたくさんあることに気付かせる。

(3) すすんで参加する

- ・思考ツールを用いて考えを視覚化することで、全員が話し合いに参加しやすくする。
- ・終末で「次の時間に考えたいこと」と書く視点を示し、次時につなげる。

7 他教科等との関連

総合的な学習の時間「プラスチックごみ問題を考えよう」		
国語科	社会科	家庭科
5年 目的に応じて引用するとき 想像力のスイッチを入れよう	4年 ごみのゆくえ 5年 水産業のさかんな地域	5年 持続可能なくらしへ ミシンにトライ！

8 指導計画（全65時間） 課：課題設定 情：情報収集 整：整理・分析 ま：まとめ・表現

課題 (時数)	探究	○児童の主な学習活動	・予想される児童の反応	評価規準
第一次 プラスチックごみ問題について考えよう (25)	オリエンテーション・課	○給食の牛乳を飲むときにストローを使わなくなった理由を話し合う ○学校や家の身の回りにはどのようなプラスチックがあるか、を調べる。 ○プラスチックとはそもそもどのようなものなのか調べる計画を立てる。	・プラスチックごみは社会問題になっているよ。 ・身の回りにはたくさんのプラスチックがあったよ。 ・プラスチックが問題になっているのに、減らせないのはなぜだろう。	知① 思① 思② 主①
	情	○グループごとにテーマを決めてプラスチックについて情報を集める。 ○専門家の話を聞く。	・何からできているのかな。 ・どのように作っているのだろう。 ・魚よりプラスチックごみが増える。	
	整	○プラスチックについて集めた情報を整理・分析する。	・メリットやデメリットを表にして比べてみよう。	
	ま	○テーマごとにまとめた情報をジャムボードにまとめ共有する。報告書を書く。	・国語で学んだ報告書の書き方を参考にしよう。	
第二次 自分たちができることは ないだろうか(8) 本時	課	○これまでの学習を振り返り、プラスチックごみ問題について自分たちにできることを話し合い、これからの活動を考える	・調べたことを発信してプラスチックごみ問題についてみんなに知ってほしい。	知② 主① 思④
	情	○「自分たちにできること」を進めるため何をすべきか情報を集める。	・どのような準備が必要か考えよう。	
	整	○集めた情報を分析し、プロジェクトを発足する。	・プロジェクトの名前を決めたいな。	
第三次 プラスチックごみを減らそうプロジェクト (27)	課	○「プラスチックを減らそう」プロジェクトを進める。	・力を合わせて取り組んでいこう。	知③ 思③ 思④ 主②
	情	○プロジェクトの中間申告会を開く。	・この調子で進めていこう。 ・この部分はもうちょっと工夫が必要だね。	
	整	○プロジェクトを振り返り、成果や課題を整理する。	・成果と課題が分かったね。 ・これからの生活に生かそう。	
	ま	○プロジェクトをまとめ、伝え合う。	・友達の取組が参考になった。	
	課	○プロジェクトが成功したかを振り返る。	・1年間の学習を振り返ろう。	
よう(5) 第四次 1年間のまとめをし	情	○1年間の学びを振り返る。	・問題解決までの流れが分かった。 ・思考ツールを他学習でも使える。	知③ 主③
	整	○振り返りを伝え合い、整理する。	・友達の考えは勉強になった。	
	ま	○1年間の学びをまとめる。	・今後もできることをしていこう。	

(1) 本時の目標

○プラスチックごみ問題について、自分たちにできることを話し合うことを通して、プラスチックを減らすための様々な取組に気づき、クラスでプラスチックごみを減らすためにできることはないかと自分事としてこの問題を考えようとする。

(2) 本時の展開

	○学習活動 T教師の発問 C予想される児童の反応	□指導上の留意点 ☆評価規準【観点】(評価方法)
導入 (3分)	<p>○前時を振り返り本時のめあてを確認する。 T今日のめあてを教えてください。 Cプラスチックごみ問題についてクラスで何ができそうか考えます。 T「プラスチックごみ問題についてクラスで何ができそうか。」でよいですか。 C「いいと思います。」 T学習のゴールはクラスでできそうなことを決めることだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">プラスチックごみ問題についてクラスで何ができそうか考えよう</div>	<p>□めあてを前時に決めておき、それを確認する形をとる。 □話し合う目的とそのゴールを明らかにする。 □前時の振り返りで、自分にできそうなことを考えておく。</p>
展開 (32分)	<p>○グループで Jamboard 上に意見を出す。(ウェビングマップ) Tそれではグループで自分たちにできそうなことを付箋に書き出しましょう。 C町に出て、プラスチックごみを拾ってみたらいいと思う。 Cリサイクルでごみを減らすことができるかもしれない。 C買い物バッグを作れば、ビニル袋を使わないですむよ。 C1学期に調べたことを伝えればこの問題を知ってもらえる。 ○出された意見からクラスでできそうなことを決める。 Tそれぞれのグループでたくさんの意見が出ましたね。他の班の意見を見る時間を取ります。出された意見は全てよりよい解決に導くための意見です。3つのことを条件としていいなと思った意見を教えてください。 Cごみを拾ってもきりがなさそうだよ。 Cリサイクルは誰がするのだろう。区のリサイクル課の方にお願いできるのかなあ。 C買い物バッグを作ってみるのもいいかもね。 C多くの人にプラごみ問題について知ってもらえたら、少しは解決に近づくかもしれない。 Tクラスでできることはこの意見でいいですか。 Cいいです。</p>	<p>□思考を広げるために、思考ツールを用いて意見を出す。 □ICT機器の操作が苦手な児童を支援するためグループで行う。 □他の班の意見を参考にする時間を設けさらに考えを広げる。 □たくさんの取組があることに触れ、気づきを促す。 □出された意見を収束させるために視点を示す。 ①「自分たちでできそう」 ②「協力できそう」 ③「やってみたい」 □意見を収束させるため黒板でピラミッドチャートを活用する。 □ネームマグネットを貼り自分の立場を明確にする。 ☆クラスでプラスチックごみを減らすためにできることを発言している。【思④】(発言)</p>

<p>終末 (10分)</p>	<p>○学習のまとめを行い、次時の見通しをもつ。 T 次の総合の時間はどうしますか。 C プラスチックごみを減らそうと呼び掛けることが決まった。次は、だれに、どのように呼び掛けるのかなどの計画を立てたい。 T 最後に振り返りを書きましょう。 C 決まってよかった。〇〇さんの意見に納得した。自分にもできるとあると思う。がんばりたい。</p>	<p>□振り返りの前に、次時の見通しについて聞く。 ☆クラスでプラスチックごみを減らすためにできることはないか記述している。【思④】(記述)</p>
---------------------	--	---